

宝石山正覚寺の基本方針

私たちは、“聞名ループ”の理念に則り、仰せのままにとな称えれば、ただ直ちに聞こえて下さる如来様のお喚び声に喚びよ覚さまされつつ、下記の通りのどうぎょう同行方針を掲げて社会に参画することを誓います。

どうぎょう同行方針

1. ちょうもんお聴聞を通じて和やかなコミュニティを実現します。
“お聴聞は瞑想”を“お聴聞の会”で実践します。
“ウェブサイト正覚寺”で人々の繋がりを図ります。
“スマホ対応版”で人々の悩みにお応えします。
2. “ダーナ(布施)”(子供たちを育む他)を実践します。
3. 宗門のリスク課題への取り組みを継続実践します。
“海外開教・伝道最前線”を継続支援します。
“宗門中枢部のマネジメントシステム”を支援します。
“無量寿経勉強会(広大会)”を継続実践します。
“伝道教学”を鍛え上げ・見える化します。

令和元年五月一日(水)
正覚寺住職 堅田 玄宥

(註) “聞名ループ”とは、本願成就文の「聞其名号(聞名)」をめざして、頭を垂れて念仏すれば、それは如来様から手向けられた愚かな衆生にも許される讃仰の行になりますから、称えれば直ちに聞こえて下さる南無阿弥陀佛こそは、阿弥陀如来直々のお喚び声(本願招喚の勅命)に他ならなかったと受けとめる“智慧の念仏 / 信心の智慧” 獲得のプロセスアプローチを指します。